

なかまの風だより

令和5年
9月10日発行

NO.107

介護老人保健施設 千寿中間

特集 地域に根ざし 愛され 貢献できる地域づくりを目指して

目次

- P2~3 特集インタビュー
- P4~5 赤い羽根共同募金
- P6 地域福祉活動助成金交付団体募集
- P7 赤い羽根まちがいさがし
- P8 令和4年度事業報告・決算
- P9 フードドライブ寄付者紹介、フードパントリー開催報告
- P10 一人金婚式のお知らせ、フードパントリーのお知らせ、在宅介護者のつどいのお知らせ、ボランティア募集のお知らせ
- P11 福祉チャレンジ体験学習の報告、災害ボランティア職員派遣の報告
- P12 専門相談、賛助会員の募集、寄付のお礼



共同募金は、この広報誌発行にも役立てられています。





地域に 愛され 根ざし 貢献できる 地域づくりを目指して



千寿中間「つくし」
支援相談課長 北田 清美氏

今回の特集は、リハビリ・看護・介護の専門職を派遣し、健康講話や体操を通じた体力づくり、認知症の理解、介護保険制度をわかりやすく伝えるボランティア団体、千寿中間「つくし」の代表 吉野友晃氏と北田清美氏にお話を伺いました。



千寿中間「つくし」代表
作業療法士 吉野 友晃氏

ボランティア団体 千寿中間「つくし」の活動

吉野 平成24年4月1日に千寿中間「つくし」を立ち上げ、地域福祉に貢献したいという気持ちと、千寿中間は介護老人保健施設なのでリハビリ、看護、介護、栄養士など専門的な知識を有している職員がおり、その知識や技術を法人内だけではなく地域にもお役立ていただきたいという想いから始まりました。

北田 作業療法士の吉野が代表で、私が支援相談員、そして理学療法士の3人がメインで活動させていただいています。地域の方の希望に合わせて、看護師や栄養士・介護士が講師として地域に出向くこともあります。

吉野 健康体操の希望が多いので、私がメインで受けさせていただくことが多いです。コロナの時期は講師依頼が全然ありませんでしたが、コロナ明けは高齢者の転倒予防の講師依頼がとても増えました。

地域包括支援センターからの紹介で地域の高齢者のサロンに出向くことが多く、年間の行事として出前講座を入れてくださっているところもあります。地域の方が私のことを覚えてくださっていて、健康体操をしてくださいと依頼が来ることが多いです。

北田 私はプロの認定を受けて足もみボランティアをしたり、青竹ふみの指導をしています。コロナ禍で外出する機会が減り足のむくんでいる方が増えたことや、うつ病や精神的に不安定な方の足もみに貢献できたらなと思い、活動をしています。

以前、地域包括支援センターから地域のイベントに



お声掛けいただき、足もみボランティアで参加した時には子どもさんも来ていたので、子どもさんの足もみもさせてもらいました。小さい子から高齢者の方まで集える場が地域に広がって、リハビリを含めて、体を動かすことや気持ちの良いことを体や脳で感じられるというなと思いました。

吉野 コロナになって「コミュニティの場が減りましたが、コロナが明けて「コミュニティの場が少しずつ戻り、みんなでワイワイするのはいいな、続けていかないといけないと感じます。その中で、私たちの出前講座を楽しみにしてくださいる方がいらっしやることはうれしです。

社会貢献活動をする人々の声

北田 足もみに来てくださった方が、また来てくれるのはうれしいですね。いつも足もみをしながら「よかつたら千寿中間の窓口にも来てくださいね」と名刺やパンフレットを渡しています。私のことを知ってくださった方から後日、出前講座の依頼が来ることもあり、うれしいなと思います。地域に向いて、地域に馴染んでいくことも大事だと思っています。

吉野 地域の皆さんが笑顔で楽しんで参加されている時に喜びを感じます。私たちが定期的に呼んでいたいたり、サロンの年間スケジュールに入れていただくと地域に貢献できているなと感じます。地域の中で活動することはとても楽しいです。楽しくないと続けられません。自分たちが楽しいと思って活動することで地域の方々の反応も変わってくるので、楽しみながら

やっています。

地域の中でどんな存在でありたいですか

北田 地域の方たちの手にすぐ届く存在でありたいですね。千寿中間は認知症専門というイメージがあって、認知症じゃなくても気軽に入って来てもらい何でも相談してほしいな、というところが私の課題でもあります。何かあったら「今から行きましようか」と、困ったときに駆け付けられるような関係が地域とできるといいですね。

吉野 私は、地域の方々がその人らしくいきいきと生活できるように、地域リハビリテーションを充実させていきたいですね。地域住民も含めて地域全体で取り組むというのが地域リハビリテーションなので、そこが私の中で一番大切にしていることです。

中間市の地域リハビリテーションに携われていることを誇りに思い、これからも地域の中で活動していきたいと思っています。



社会福祉法人 西日本至福会 介護老人保健施設 千寿中間

介護老人保健施設 千寿中間は、1995年12月に開設した、認知症専門棟の施設です。“地域に根ざし 地域に愛され 地域に貢献できる地域づくり”を目指しています。利用につながらないケースでも、いつでも相談できるスペースを提供しています。認知症介護でお困りの方もお気軽にご相談ください。



住所 中間市通谷一丁目 36-6
電話 093-243-1200

共同募金

運動期間：10月1日～12月31日



しくみを知ろう！！

①じぶんの町を良くするための募金です。

中間市で集められた募金の約70%は中間市の福祉活動に還元され、残りの約30%は福岡県内の福祉活動や全国の災害支援に役立てられています。

例えば、100円募金すると70円は中間市のために、30円は福岡県や災害支援のために使われるしくみです。

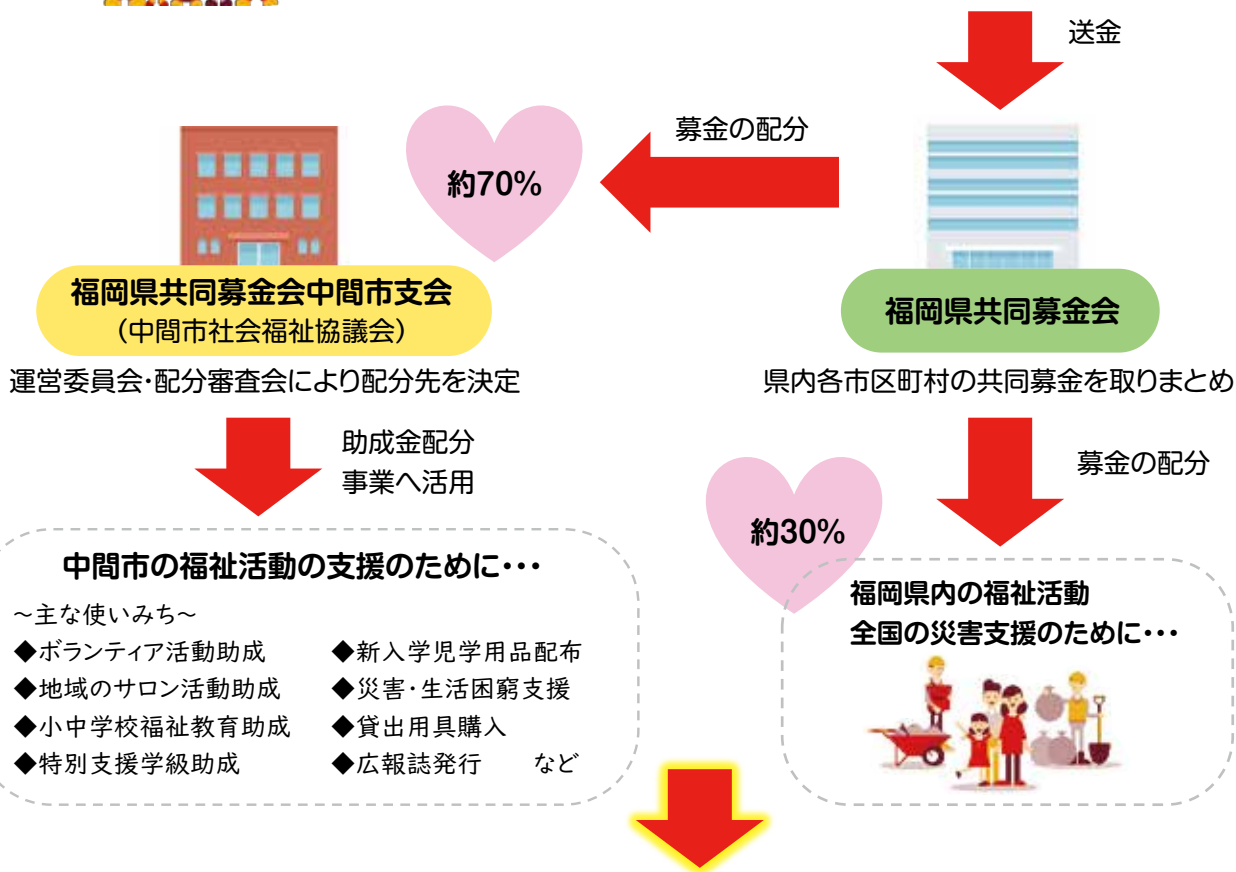
②目標額を定めて募金運動を行う「計画募金」です。

募金が集まってから使いみちを決めるのではなく、事前に中間市の何の地域福祉活動に何円必要なかを計画し募金運動を行います。そのため、毎年目標額が設定されています。令和5年度の目標額は268万2,000円です。令和5年度に集められた募金は、令和6年度に活用されるしくみです。



みなさまのご協力により**中間市**で集められた募金

翌年度の地域福祉活動の財源として活用されます。



多くの方の笑顔とありがとうございますに繋がっています

～ありがとうメッセージ～

- ・助成金で購入した道具を大事に活用しながら交流を深めています。(ふれあい・いきいきサロン)
- ・ミニフェスタや研修会等に参加し、仲間たちと情報交換や交流の場がもてました。(ボランティア団体)
- ・高齢者の理解を深めるため、高齢者疑似体験セットを活用し貴重な体験ができました。(貸出用具活用)
- ・かってもらったきょうざいでひらがなのべんきょうをがんばりました。(特別支援学級学習)

ありがとう！





募金方法を知ろう!!

- ◆戸別募金・・・自治会や民生委員さんのご協力を得て各家庭に寄付をお願いしています。
- ◆法人募金・・・企業や法人を中心に、訪問等によって寄付をお願いしています。
- ◆職域募金・・・会社や官公庁等、職場の社員・職員に寄付をお願いしています。
- ◆街頭募金・・・店舗前や街頭などで職員等の呼びかけにより寄付をお願いしています。
- ◆イベント募金・・・市内のイベントや行事の際に寄付をお願いしています。
- ◆学校募金・・・市内の学校に寄付や募金運動のご協力をお願いしています。
- ◆募金箱への募金・・・公共施設や店舗等に設置している募金箱への寄付をお願いしています。
- ◆赤い羽根自販機や寄付つき商品の購入・・・購入することで売り上げの一部が募金に繋がります。
- ◆ネット募金・・・中央共同募金会の募金サイトを通じて寄付ができる募金方法です。
このQRコードを読み込むと、**中間市**へ寄付をすることができます。

NEW



協力店大募集!

～協力店が増えることで地域の が広がります～

募金箱の設置

通年募金箱を設置していただくことで、啓発・募金率UPに繋がります。



寄付つき商品の登録

寄付つき商品を企画・登録して下さる協力店を募集しています。



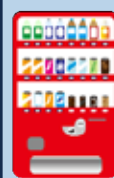
たまごせん

第1号店「みーとぱいはうす」
1個販売につき10円寄付

赤い羽根自販機の設置

新規設置・置換え協力店を募集しています。

※既存の自販機の置換えで電気代の節約に繋がる場合もあります。



市内4カ所に設置中

- ・特別養護老人ホーム智美園
- ・岩尾内科医院
- ・デイサービス暖家。
- ・ホームプラザ ナフコ中間店

・社会貢献・イメージUP・広報力UP・みんなが貢献できる場の増加に繋がります!!

まずはお気軽にお問合せください♪



イベントのお知らせ(予定) ～たくさんの方とお会いできるのを楽しみにしています～

◆街頭募金◆

◆市内の店舗等にて募金運動を行います。

▶10/1(日)10時～12時、13時30分～15時

場所:イオンなかま、メガセナートライアル中間店

▶10/4(水)・10/21(土)10時～12時

場所:さくら館

※別日にも実施計画中です。

◆やっちゃん祭り◆

赤い羽根共同募金のブースにて

楽しいイベントを企画中です♪

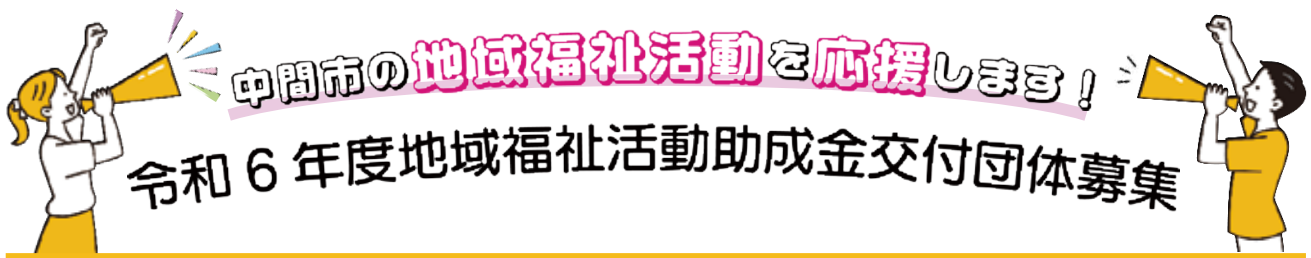
ぜひお立ち寄りください!

10/15日(日)9時～15時30分

場所:なかまハーモニーホール



中間市社会福祉協議会のホームページ (<http://nakama-syakyou.jp/>)
にて中間市支会の共同募金の使いみちや取り組み等を確認できます。



地域福祉の推進を図ることを目的に、中間市内において地域福祉活動やボランティア活動を行う福祉団体またはボランティア団体の活動に対し、「赤い羽根共同募金配分金」を財源に助成を行います。



● **対象団体** ●

主に中間市内を活動範囲としてボランティア活動等を行っている団体で、以下のとおりとします。ただし、公的助成を受けている地縁を基礎として構成される団体は含まないものとします。

1. 地域福祉活動の推進のために活動している団体
2. 高齢者、障がい児・者、児童等の福祉向上のために活動しているボランティア団体
3. 高齢者、障がい児・者、児童等の福祉向上のために活動している当事者団体
4. その他、地域福祉活動の推進のため、社協会長が特に必要と認めた団体

※上記以外に定める要件を満たす必要があります。詳しくは募集要綱などをご確認ください。

● **対象事業** ●

令和6年4月1日～令和7年3月31日の期間に実施する事業・活動で、以下の事業にかかる経費に助成を行います。

助成対象事業	助成対象事業詳細	金額
団体研修事業費	ボランティア団体、または当事者団体が会の資質向上を目的として行う研修費	最大 5 万円
イベント事業費	ボランティア団体、または当事者団体が不特定多数の市民の利益に繋がる目的をもって実施する講座やイベントなどの事業費	最大 5 万円
備品購入費	継続して活動を行うために必要な備品の購入費	最大 5 万円
新規団体活動運営費	これから活動を始めるボランティア団体および福祉団体が活動を行うために必要な運営費	最大10万円

● **申請受付期間** ●

令和5年9月11日(月)～10月31日(火)

● **申請方法** ●

提出書類に必要事項を記入し、中間市社会福祉協議会へ提出してください。

※募集要綱・申請書類等は中間市社会福祉協議会の窓口または本会ホームページからダウンロードできます。

※配分審査会による書類審査、必要に応じてヒアリングを行います。

● **問合せ・申込窓口** ●

中間市社会福祉協議会 地域支援係

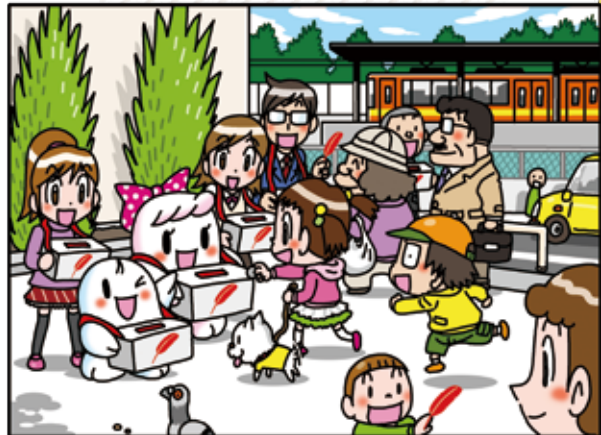
☎ 244-1230 FAX 244-1232



社協ホームページ

赤い羽根 まちがいさがし

下の左右の絵の中にまちがいがあります。さて、まちがいはいくつあるでしょう？



答え ① 6こ ② 7こ ③ 8こ

① 答えの番号 ② 氏名 ③ 住所 ④ 電話番号 ⑤ 風だよりの感想
をはがきに書いて下記までお送りください。

〒809-0018 中間市通谷1丁目36番10号
中間市社会福祉協議会 宛

締切：令和5年10月20日（金）消印有効

★QRコードからも応募できます→
※右記のQRコードを読み取り、応募ページに
アクセスしてください。



※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

正解者の中から
抽選で5名様に素敵な
商品をプレゼント!



106号「クロスワード」答え

答えは「ボランティア」でした!

1	ラ _B	ン	2	チ		5	カ	7	ケ	イ	6	ボ _A
	ク		4	ヨ	ウ	ツ	イ					ク
3	ガ	ハ	ク			8	テ _D	バ	ナ	シ		
	キ		9	リ	14	カ		10	イ _E	オ	ン _C	
		12	キ	ツ	カ	ケ			16	キ	グ	
11	ア _F	ン		リ				15	ウ	シ		
20	キ	ジ		17	ツ	15	ウ	シ	ヨ	18	ウ	
13	チ	ヨ	ウ	ケ	シ					18	ウ	ミ

正解者の中から抽選で5名の方に、^{どうてんこう}東天紅の「冷凍生餃子」を
発送させていただきました。

たくさんのご応募ありがとうございました!



餃子専門の店 ^{どうてんこう}東天紅 様の紹介

1957年創業の餃子専門
店「東天紅」。餃子は皮・
具・タレすべて自家製
で、子どもから高齢者、
女性の方にも好評の一
口餃子です。



住所 中間市長津一丁目13-5
電話 245-1208

主 な事業の取り組み

令和4年度
事業報告・決算

法人の取り組み

- ①地域における複雑多様化する福祉課題に対応すべく、運営体制の整備、持続可能な経営や運営の在り方について検討し、法令遵守の徹底や危機管理の強化、人材確保・育成に努めました。
- ②第3期中間市地域福祉計画策定に伴い、本会においても中間市と連携・協働し、第3期中間市地域福祉活動計画を策定しました。

アフターコロナにおける取り組み

- ①住民同士の助け合い・支え合いを前提とした「食のおたがいさまプロジェクト」を実施し、フードドライブ事業やフードパントリー事業を通して、命と心をつなぐ活動に取り組みました。
- ②地域福祉活動の財源となる賛助会や共同募金運動を実施しました。
- ③コロナ禍以降初めて社会福祉大会、成年後見制度啓発講演会等を有観客で開催し、地域住民に本会事業への啓発活動を行いました。

福祉サービスの推進

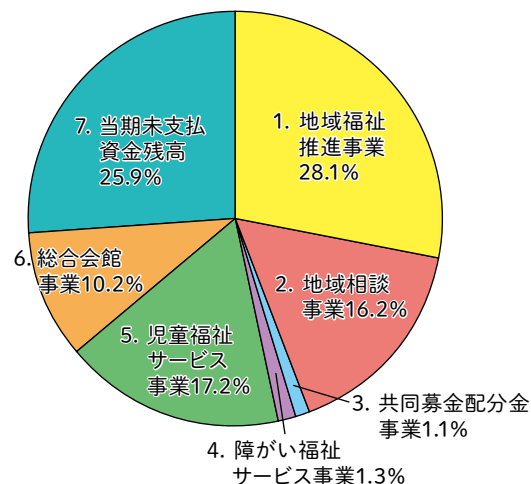
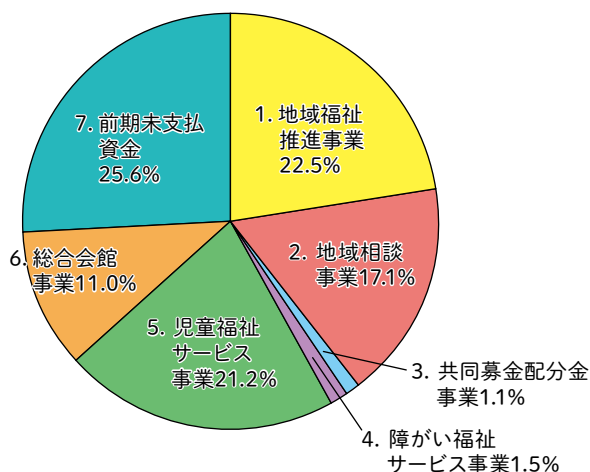
- ①療育支援センターや学童保育事業、障害者地域活動支援センターI型事業において、様々な状況や状態にある人々が共生できる社会の実現のため支援を行いました。
- ②なかま成年後見支援センターにおいて、市民後見人養成講座を開催し、判断能力が不十分な方々の支援者の裾野を広げる活動を行いました。

収入決算額 254,584千円

	科目	金額(千円)
1	地域福祉推進事業	57,229
2	地域相談事業	43,704
3	共同募金配分金事業	2,810
4	障がい福祉サービス事業	3,711
5	児童福祉サービス事業	53,999
6	総合会館事業	28,092
7	前期末支払資金	65,039

支出決算額 254,584千円

	科目	金額(千円)
1	地域福祉推進事業	71,693
2	地域相談事業	41,283
3	共同募金配分金事業	2,810
4	障がい福祉サービス事業	3,360
5	児童福祉サービス事業	43,700
6	総合会館事業	25,871
7	当期末支払資金残高	65,867





令和4年12月から令和5年5月までの期間に、フードドライブ（食糧品等の寄付）にご協力くださった方々をご紹介します。心温まるご寄付に心より感謝いたします。

※寄付物品の集計については、本会ホームページに掲載しています。

個人

(順不同・敬称略)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 田中 恵子 | 山下 徹 | 土井 美沙季 |
| 田中 耕造 | 田淵 貴子 | 渡邊 一美 |
| 古川 佳子 | 角 隆雄 | 長田 あさぎ |
| 日高 允義 | 田中 善治 | 水町 由美子 |
| 井上 妙子 | 匿名37名 | |



企業・団体・法人等



- 中間市役所職員
株式会社 真浄葬祭
有限会社 桃のはな
中間市立 中間西小学校
行政書士法人 福岡中央法務
株式会社西日本シティ銀行中間支店
社会福祉法人東筑紫会 第2智美園

- 株式会社 ハグロット
中間商工会議所
福岡県立 中間高等学校
ホームプラザナフコ中間店
子ども発達支援センター いっぽ
社会福祉法人みんなの家会
ほのぼのファクトリーファーム

フードドライブ
(食品等の寄付)

イオン九州株式会社が実施しているフードドライブ活動で集まった食糧品を、毎月、中間市社会福祉協議会にご寄付いただいています。



「もったいない」を「ありがとう」へ

6月24日(土)に、生活に不安を抱える世帯を対象にフードパントリーを開催しました。

5月までにフードドライブで地域の方々から届けられたたくさんの寄付物品を含む食糧支援と生活用品の支援を100世帯に行いました。併せてNPO法人抱樸(中間市市民生活相談センター)の出張生活相談も実施しました。

来場者からは、「物価高騰で思うように品物が買えない中、支援していただいたおかげで食をつなぐことができます」、「いただいた食品を子どもがとても喜び、美味しそうに食べる姿を見て親として幸せに感じました」など、寄付者への感謝の声が多く寄せられました。

今後も地域が抱える課題の解決に向け、取り組んでいきたいと思っております。

フードパントリー
(食糧支援)






一人金婚式の開催について

ご結婚五十年を経過され、節目となる金婚式をご夫婦で迎えることができなかった方へ、長年の労をねぎらうことを目的として祝宴会を開催いたします。

開催日 令和5年**11月11日(土)**
会場 なかまハーモニーホール 小ホール
(中間市蓮花寺3-7-1)
時間 13時～15時
(受付12時30分～)
定員 50名


対象となる方

-  昭和47年1月1日から昭和48年12月31日までに結婚された中間市在住の方
-  結婚50年を迎えられ、これまでに開催された同式典に参加されていない方
-  令和3年度一人金婚式の記念品を授与された方(対象となる方には、別途ご案内させていただきます)

申込期間 9月11日(月)～10月6日(金)
申込先 中間市社会福祉協議会
☎ 244-1230


フードパントリー(食糧支援)を開催します

ひとり親世帯や生活にお困りの世帯を対象に、食糧品や生活用品などを配布します。事前の申込が必要です。(生活保護を受給されている方は対象になりません)




日時 令和5年**9月23日(土・祝)**
9時30分～11時30分 
場所 中間市総合会館
(ハピネスなかま)
申込方法 電話・窓口・QRコードから
申込開始 9月11日(月)から
※定数に達し次第受付終了
問合せ先 中間市社会福祉協議会
☎ 244-1230

在宅介護者のつどい研修会のご案内

今回は在宅での介護についての研修会を開催します。「介護保険利用の流れ」「利用できる施設紹介」「福祉用具」「身体介護のポイント」の4つを学びます。参加は無料です。

日時 令和5年**9月28日(木)**
10時～12時 
場所 中間市総合会館 (ハピネスなかま)
2階視聴覚室
対象者 中間市在住で介護に携わられている方、
介護経験者、介護に興味のある方、
今後携わる予定のある方
定員 10名(先着順)
申込方法 電話または来館にて受付
※9月25日(月)まで
申込先 中間市社会福祉協議会
☎244-1230 (担当 森下・中村)

募集内容

活動日 毎月第3土曜日
場所 中間市総合会館
(ハピネスなかま)
 **調理部隊** 14時～17時
 **片付け部隊** 17時～20時
 **遊び担当部隊** 17時～19時
問合せ先 代表 安井明子
☎ 080-3971-4584

ふれあいキッチンなかま食堂 ボランティアさん募集

ふれあいキッチンなかま食堂は、中間市内で活動している「こども食堂」です。こども食堂を運営するためにはボランティアさんの協力が不可欠です。特に「片付け」と「遊びの時間」のボランティアが足りていません。調理の得意ではない男性の方でも、子どもたちの見守りをしていただけの方、大歓迎です!「地域のために何かしたい!」と思われる皆様のご参加をお待ちしています。

～なかま福祉チャレンジ体験学習を実施しました～

活動報告

8月3日(木) 中高生対象 聴覚障がいの方からの講話と筆談体験
講師：福岡県難聴者・中途失聴者協会 中川原さん、福岡県要約筆記連合会

8月5日(土) 小学生対象 聴覚障がいの方からの講話と手話・指文字体験
講師：中遠ろうあ協会 岡田さん、手話通訳者 大西さん

夏休み期間中に耳の聞こえない方の普段の生活の様子やコミュニケーションの方法について学習しました。子どもたちは障がいのある方の生活を送るうえでのいろいろな工夫を知り、コミュニケーションは「伝えたい気持ち」が大事であることを感じられたようでした。「福祉」とは、「みんなのしあわせ」を共に考え、実現に向けて実践していくことです。地域に暮らす人々の日常生活課題に目をむけ、考え、やがてはその解決に向けて動くためのきっかけ(土壌)づくりに今後も取り組んでまいります。



～久留米市災害ボランティアセンターの運営支援に行ってきました～

7月7日から大雨により、全国各地では人的被害をはじめ、家屋の倒壊等の甚大な被害が発生し、福岡県では久留米市他5市3町1村に災害救助法が適用されました。その中の久留米市災害ボランティアセンターの運営支援に参加しました。

活動内容は被災された方の困りごとと、作業内容をボランティアの方へ紹介し結び付けるマッチング班を担当しました。真夏の35℃を超える暑さのなか、被災された方に早く元の生活に戻ってほしいと連日活動される方、遠方から来られている方もおられました。

「少しでもボランティアの方がスムーズに活動できるようにしたい。」その思いを胸に、ボランティアの方の意見も積極的に取り入れ資材や人数、車両などの調整ができるように心掛けました。センターの運営に携わり、住民や関係機関との繋がり大切さ、思いやり、組織という力強さを感じました。まだまだ復興までに時間が必要かと思えます。一日でも早く被災された方が元の生活に戻れますよう心より願っています。



ハピネスなかに募金箱を設置し、社協窓口でも義援金を受け付けています。詳細はホームページをご確認ください。



ハピネスなかま専門相談 ▶ 9月～12月

相談内容	9月	10月	11月	12月	備考
心配ごと相談 15:00～17:00	15日(金)	7日(土) 20日(金)	11日(土) 17日(金)	2日(土) 15日(金)	※要予約 1人20分
行政相談 15:00～17:00	15日(金)	7日(土) 20日(金)	11日(土) 17日(金)	2日(土) 15日(金)	
身体障がい者福祉相談 10:00～12:00	10日(日)	8日(日)	12日(日)	10日(日)	
交通事故相談 10:00～16:00	14日(木)		8日(水)		
※福岡県交通事故相談所に2日前までに電話予約してください 福岡県交通事故相談所 ☎ 092-643-3168					

◇ 問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎ 244-1230

社協を応援して下さる **賛助会員** 募集中です！

毎年、賛助会へのご協力ありがとうございます。7月から民生委員・自治会長・組長さん等の
お力添えのもと地域の皆様にご協力をお願いしています。また、市内の企業・団体・事業所等
においても、ご協力をお願いをさせていただいています。賛助会は、本会の地域福祉活動を充実
させるための貴重な財源であり、賛助会員が増えることで地域の皆様に還元できる活動の幅が広
がります。

○協力したいけど、自治会に加入していないからどうしたらいいかわからない…

○新規企業や団体、事業所として協力したい！

などの想いをお持ちの方は、中間市社会福祉協議会 (☎244-1230) にご連絡ください。

会 費 1口 1,000円



寄付のお礼

心温まるご寄付に感謝申し上げます。皆様からのご寄付は、地域福祉活動のために有効に活用させていただきます。地域福祉の推進に精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

香典返し寄付金

5月16日～8月15日付分

行政書士法人 福岡中央法務 様	田中 耕造 様	井上 妙子 様	篤志寄付金	故 田西 夕純 城田 純ケノ 様様 (鍋山町)	故 牧野 初均 様様 (垣生)	故 大城 清国 様様 (中鶴)	故 佐々木 慶治 様様 (中尾)	故 高尾 由義 様様 (蓮花寺)	故 福田 政勝 様様 (太賀)	故 佐竹 俊雄 様様 (太賀)
-----------------------	------------	------------	-------	-------------------------------	--------------------	--------------------	---------------------	---------------------	--------------------	--------------------

